



# 嚶鳴同窓会報

編集発行所  
990 山形市鉄砲町  
1丁目15-64  
山形県立山形西高校  
嚶鳴同窓会  
電話 41-3504  
振替山形 995

## 第五号発刊によせて

会長 高橋 政

本年度も後半に入りまして、御報告や御礼をお願いを申し上げる時となりました。同窓会はいつも会員皆様の御協力によりまして、運営出来まします事を心より感謝申し上げます。母校におきましては創立八十周年事業その他数々の偉業を果されました笠原校長先生がこの春御勇退遊ばされました。新校長に菅田(ほんた)先生をお迎え致しまして、更に進展を続けられうれしう存じ上げております。又同窓会員お二人を母校の先生にお迎え出来ましたので早速同窓会の校内理事をお願い出来まして安心でございます。

尚今年度は母校の各方面への活動がめざましく、教育活動助成金が倍増致しましたので同窓会でも協力をと考えました。それと共に



初秋の校庭より、体育館を左に「軒端にあおぐ千歳山」を望む。



中世史の研究、古文書の解説と、学術的な菅田校長の執務姿。後に掲げられた額は、同窓生古沢せいさん(号紫芳)の仮名の書。

## ごあいさつ

学校長 菅田慶恩

同窓会の皆様にはますますお元気に過ごしてのこととお察し申し上げます。私こと笠原二朗先生のあとをうけて、皆様の母校の校長に就任いたしました。まったくの非才凡庸の身ではありますが、皆様方によって築きあげられてきた輝かしい伝統を傷つけることなく、さらに校運の躍進に尽力いたす所存でございますので、なにとぞ前校長に任せられたと同様のご支援を賜りますようお願いいたします。

多年にわたり母校の発展によせられた皆様方のご援助ご協力が学園のすみずみまでしみわたっている思いがして感慨ひときわ深いものがあります。皆様の物心両面にわたる温かいご厚情に感謝し、ただただあつく感謝いたしています。この御恩に報いるためにも、「嚶鳴」の精神を堅持し、教育内容の充実

## 昭和五十四年度

### 同窓会総会報告

今年の総会の当番を仰せつかり張切って第一回の会合を二月に行いました。レストランサトウヤさんで皆さんとお会いし顔ぶれを見て心強く安心いたしました。講師の先生の選考も全員一致で第一候補に草柳大蔵先生にきまり何か夢の様なお話も玉川さんの御厚意により着々進み実現する事に決定した時には躍り上って喜びました。三月、五月と会を重ねるに従って皆さんの気持もますます揃って皆さんの希望もますます理想を上まわりポスターのデザインも素敵に出来上り皆さんの意気込みには頭の下がる思いでした。九月に各自の役割を確認し総会に臨みました。朝から秋雨が降り出足が鈍るのではないかと心配しつつ学校へ来ました。珍しいお顔それこそ卒業して以来始めてお会した方ほほえましい光景があちこちで見られました。十一時開会、六〇〇用意した椅子が殆んど足りなくなりました。相馬さんの開会の挨拶、続いて母校新任職員のご紹介、十年以上勤続の先生方へ感謝状と記念品の贈呈。次は何よりも嬉しい米寿六人、喜寿十六名の御紹介をして記念品をお上げしました。本当に心からおめでとくと申し上げて益々御元気で過ごして下さいますようにとお祈りしました。米寿の代表の方萱野様は態々東京からお出でになられた本場に喜んでいただきました。私は目頭があつくなり感謝してしまいました。引続き議事に移り相沢さんが議長となり決算予算を可決。短時間ではありましたが午前中の予定の総会の件を全部終了しました。そして来年の総会は西村山地区の方にお願いしました。次は楽しい昼食です。各教室でグループで食べる人、会場で食べられた人、学生時代に返ったようなにぎやかな笑聲で一杯でした。僅か一時間でしたがすばらしい時間でした。次は本日のメインイベント草柳大蔵先生の講演会(一時半)が始まりました。いつもテレビで見ると先生を目のあたりに見て年代を越えてみんなんうっとり拝聴しました。一人一人の心にのほほとしたものを与えて下さったと思います。生憎雨の雨も後では晴れてこんなにも多くの人が集まって下さってこの総会を盛会のように終了して本当によかったと心より感謝して居ります。来年の御盛会を祈りまして。(渡辺喜美子記)

## 草柳大蔵氏講演(要旨)

### 「日本の変化と女性文化」

全てのものは変化する。その変化に対応できるものが生き残り、できないものは滅びる。日本文化が栄えてきたのは、日本人に対応能力があるためで、その能力がすなわち文化である。女性が主婦として家庭を守ることはひとつの価値の創造である。なぜなら、価値はひとりでは創り出せないし、一方、家庭は複数の人間の関わり合いの中で営まれているから。その女性の中で変化の大きいものが「愛」である。具体例をあげてみる。戦後急速に伸びたものの中に粉ミルクの生産量がある。戦前は十人中八人が母乳であったが、現在はその逆の割合になっている。栄養がよくなくなったのに母乳が出ないのは何故か。それは、種族保存本能をつかさどる間脳が退化したからだといわれる。環境が整いすぎたというのである。戦前、つらい家事の中で育児は母親が安らぎを得る唯一のもの、すなわち唯一の価値の対象となっていた。ところが、現在育児は面倒でやりきれないものではない。赤ん坊の生後一ヶ月半は情緒を養う大切な時期で、この頃までに母親の感情を見抜いてしまふ。厄介者という意識で接していれば、その子は愛情を得ることができず、そのまま競争社会に組み込まれていく中で、自己の意志が通らなければ、周囲を破壊するといふ極端な行動に出るのではないかと考えられる。人間は愛なしには生きてゆけない。これまでの社会は、知能指数の高い人間が中心となる成長社会であったが、これからは、倫理感の高い、他人の傷の痛みをわける人間が指導者となる成熟社会とならなければならない。善悪の判断ができる人間が望まれている。このように変化の激しい社会では第一に教育を見直す必要がある。現実には学校の増加に伴い、学校数も増加。何を勉強するかという目的意識がないためである。今後はその目的意識を持つことが必要である。次に、親子関係についても見直すべきである。人間は普通十五、十六才で親から独立する。その現実をみつめ、先に親が子離れ



講演風景



- 渡辺 泰 (仙台)
- 庄司 芳子 (山形)
- 丹羽 うん (山形)
- 萱野 松江 (群馬)
- 高橋トミエ (山形)
- 阿部しづ江 (山形)

を宣言し、子の精神的自立を助けてやるべきである。それでも思いの通じるのが本当の親子なのである。また、世代が違えば価値観が異なるのは当然で、子が結婚したら別居すべきである。親離れ、子離れを促す方法として、大学などの教育費は親からの借金と考え、就職後返済させるようにしてはどうだろうか。欧米ではごく普通に行なわれていることである。現在、変化しつつある状況を戦前からの道義によって縛ろうとする傾向があるが、これは誤りでなければならない。変化には素直に対応していくべきである。対応の仕方が正しければ、真、善、美が流れるのである。さらに省力化が進み、人口が増加していく中では、物資を媒介とせず、人間が人間のために働く一人間産業の充実を図っていくなければならない。(文責・小原)

東京支部総会報告

樹々の緑もさわやかな初夏の六月三日(日)、昭和五十四年度東京支部総会が、日比谷公園内の森のレストラン「松本楼」で開催されました。

道ひと筋に晴れの藍綫褒章

昭和二十三年から三十年間、調停委員として活躍、また、医師としては、市内小学校の校医として、児童の健康管理にご尽力。

嚶鳴女声合唱団

今年度の全日本合唱コンクールに参加、十月二十七日の東北大会(八戸市)では金賞を獲得し、続いて十一月二十五日、横浜市の県民ホールでの全国大会に出場。



第32回全日本合唱コンクール全国大会

米寿

董野 松江

(明治四十一年高女卒)

同窓会の本年度総会に於て米寿のお祝いの本のお招きを頂き卒業後七十年余りの私も、母校への御縁をなつかしく出席致しました。

喜寿

河合 ツル

(大正八年高女卒)

本日は私共、喜寿の祝に御招待を受け、その上、記念品を頂きまして誠に有難うございます。

五十年ぶりの顔

富岡 智恵

(昭四・女師・二部卒)

月日のたつのは早いもの、女師卒滿五十年の賀寿の会にお招きいただいた、もう、そんな年になつたのかと、今更のように考えさせられてしまいました。

毎年のクラス会

大場 悦子

(昭三・高女卒)

入学したのは大正十三年、そして昭和三年卒業の高女二十六回の私達。卒業してからもう半世紀をすぎました。

茜会のあゆみ

佐藤 ミツ

(昭和十九年高女卒)

私たちは戦時色の濃くなった昭和十九年卒業で、校舎が焼けたため師範の食堂で卒業式をしました。

鬼籍簿

祈ご冥福

折れた葦 董野英二 ある戦没哲学徒の手記 董野松江さまが、ご子息英二さまの鎮魂のために出版ご寄贈。

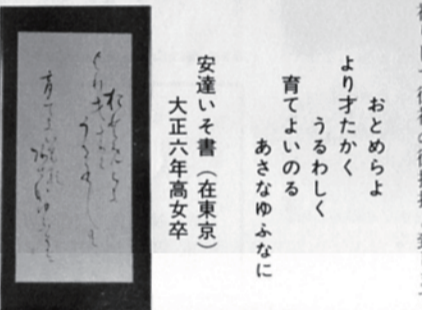


Table with names and dates of deceased members, including 高女 昭和十九年卒 平家物語の跡を探ねて.

講演概要

母親のみた

アメリカの学校教育

石坂照子



石坂さん紹介

医学博士。昭和十九年高女卒、東京女子医大卒、東大医学部研究...

私は母校の演壇で後輩の皆様へ何を話したいのか演題が見付からず...

まず、アメリカの幼児教育です。ここには社会に対する責任感を感じさせる...

の意見を尊重する習慣を身に付けて行きませう。息子が高校に入るとき...

最後にアメリカでは職業婦人が各分野で働いて居ります。日本人は、アメリカの婦人の地位が社会的に確立し認められている...

心豊体胖 近藤哲さまの書 (明治42年高女卒) 奈良女高師卒、母校勤務の後、東京で書道塾を開く。

もんぺと三四郎

金子 淳子

(旧姓伊藤・昭十六高女卒)

私たちがスカートをもんぺに穿きかえたのは、確か五年生の二期だった。翌年の十二月にあのい...

嚶鳴女声合唱団

初の「東京公演」

とき、昭和55年3月22日(日) 午後6時30分(開演) ところ、虎ノ門ホール...

事務局日より

今年度はお二人の同窓職員を加え、同窓生五人、学校側の同窓会係職員栗野、室崎両先生を加えて...

嚶鳴同窓会の活動機構 一、活動運営は、ひとつの機構を持つて、有機的にすすめていくことが肝要として、次のようにしている...

次回総会のご案内

昭和五十五年度の同窓会総会は、会場は寒河江市にきまりました。西村山支部の方でおひきうけ下さいました...

嚶鳴後援会特別教育活動助成協力募金中間報告 (1979.9.22現在)

※受付順に記載

但し、音楽部卒業生は別にしました

(敬称略)

Main table listing donors and amounts. Columns include names, amounts, and categories like 'S32西高' or 'T10高女'.

昭和54年度会費納入状況

Table showing membership fee collection status for 1973. Columns include member names, amounts, and categories like 'T15本科' or 'S35 3組'.

編集記

一 三十分の貴重さを知る

年費増額のお知らせ
上記の年費納入状況をこらんと...
今年度は昭和四十四年度のクラスまで納入することになります。

山積した朝仕事を一応かたづけるとなると、もう三十分の余裕がほしいという実状から、更に、十時半集合に改める。
主婦業のかたわらの編集委員は、三十分という時間の貴重さを、現実的に体験して、これもまた、勉強のよい機会と受けとめていたのが、あつたればたのしい、平均年齢四九才の仲間である。

母校のようす

職員動向

転出

笠原 二郎先生(校長) 御退職
酒井 隆子先生(家庭) 御退職
鈴木 実先生(社会) 小国高教頭
前川 和男先生(生物) 福岡高
工藤 文男先生(数学) 寒河江・工業高

転入

叶内 正治先生(国語) 新庄北高
安喰美保子先生(実助) 御退職
譽田 慶恩先生(校長) 県立博物館 館長
片桐 昭一先生(国語) 上山農高
木口マサエ先生(家庭) 山辺高
岡崎 祐助先生(数学) 山形山高
山口 頼子先生(生物) 山形北高
小出 浩平先生(社会) 天童高
野口千津子先生(実助) 中央高

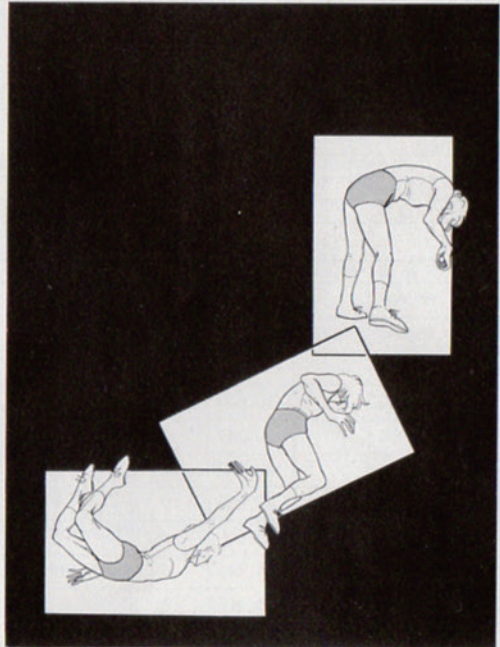
御存知ですか

必修クラブ

既に、このカリキュラムで、授業を受けられた方は別として、案外知られていないのが、クラブ活動です。そこで、今回は、担当の今野先生の全面的な御協力を得て、その一端を御紹介致します。御尽力いただきまして、心から感謝と御礼を申し上げます。

学生のゲバ事件が、多発するようになった頃から考えられ、今迄の部活動は課外活動として残り、全く新しいやり方で、生徒全員が参加し、クラブ活動を通して、生徒と教師、生徒どうしの交流を図り対話の場を作ろうという事で、文部省の指導の下、昭和四十八年度より、一年生から段階的に実施。年度初め、第一希望をとり年間目標、計画を立て、週一回一時間(西校では、月曜日三校時)年間三十五時間の活動で、教科と同じ扱いで、出席をとり、対外試合、校外発表等は、認めておりません。この時間を捻出する為に英語と数学の時間が、調整されたとも聞きました。他校では、六時間目にしてはいるところもあるとかある程度各学校独自のやり方が出来るようです。クラブ名も生徒の希望があれば、職員会議を経て、実現の運びとなる訳です。現在あるクラブは次の通りです。

Table with 2 columns: 文化的クラブ (文芸、演劇、音楽、書道、将棋、囲碁、落語研究、茶道、心理研究、旅行研究) and 体育的クラブ (バスケット、バレー、卓球、テニス、バドミントン、ソフトボール、剣道、弓道、陸上、生産的クラブ、手工芸、料理、手芸、タイピング)



二年 石原永子さんの躍動感あふれる作品



茶(てん)書に挑む、ある日の書道クラブ

部分的生徒は、趣味を豊かにする為の貴重な時間として、この必修クラブ活動を捕えており、友達との触れ合いを求めている点が、目立つ所です。進学校特有の息詰りの場にも、なっているようです。発足以来七年余、試行錯誤を繰り返して現在に至っている訳ですが、指導者、チーム、発表の場に恵まれれば、より一層生々とした楽しいものになって行く事でしょう。(堤)

部活動

山岳部

山岳部は、現在十名の少数精鋭だが、今年も、山形県大会二位、東

山岳部は、現在十名の少数精鋭だが、今年も、山形県大会二位、東



県高校総体・於島海山

のいない事で、伝統の灯を消さない為にも、是非欲しいところ。求ムク大和なでしこ。(堤)

放送部

一日の活動は、始業前に校内に流す「朝の名曲」で始まる。担当は一年部員、昼休みは目下二人の二年部員が受け持ち、毎日ジャンル別に音楽を紹介している。放送室は職員室の隣り。テラックスな機械の操作も企画もすべて生徒の手で。朝昼の他に、放課後の掃除中にもBGMという具合に、常に流れる音楽に馴染み過ぎていて、傾けてくれず、どうしても放送に

Table listing various clubs and their member counts: 文化(510名), 演劇, 新開, 郷土, 手芸, 家政, 茶道, 華道, 音楽, 美術, 書道, 科学, 生物園芸, 写真, 英語, 放送, JRC, 運動部(247名), バレーボール, 卓球, 庭球, 陸上競技, 登山スキー, バドミントン, ソフトボール, 水泳, 弓道, 剣道.



2年部員の熱心なお稽古

演劇部テレビ出演

一月十九日(土) 2:30~3:55
山形テレビ開局10周年を記念しての番組「県高校演劇中継」(1月12・19・26・2月2日)に母校演劇部も参加。鈴木理枝子演出「こわされた影像」一幕。本紙創刊号に紹介した菅野和子さん(昭20卒)の詩をもとに、顧問の阿部秀而先生が書き下ろされた。34年前学徒動員先の川崎で、大空襲の犠牲となつた先生と5人の生徒の最期を描いた鎮魂のドラマであり、戦争を知らない世代へのメッセージともいえる作品。自分達が背負う歴史を自ら演じるという事もあり、迫力ある舞台作りで、昨年11月の県高校演劇合同発表会では、日大山高、天童高、寒河江高と共にYTS賞を受賞。この四校がYTS上演となった。既に四校がYTS上演では、スタジオ内の為か、実際のホールでの舞台とはかなり異質のドラマ作りにとまどいながらも、局側の期待に答えての熱演。放映である。

音楽部
力強い中にも、繊細さとのびやかな歌いぶり聴衆を魅了し、今年も健闘しました。
NHK全国学校音楽コンクール
最優秀賞(六回目)
冬、風運湖
ひたすらな道一弦
共ニ高田三郎作曲
全日本合唱コンクール全国大会
金賞(六回目)
秋風の中で
わたしの願いー雲雀にかわれ

Table showing school status and career paths: 一就職, 一国立大, 一短大, 一私立大, (3) 最近3年間の進学状況(合格数), (2) 卒業生の進路状況, (1) 在校生の進路希望.

会務報告

昭和54年1月9日(水) 会報編集委員会(原稿校正)更に...

7月10日 第4回当番学年幹事打合せ会(式典・講演・広告代金集金等)...

木口マサエ先生 昭和二十二年西高卒。宮城女専卒。家庭科(食物)の先生として...

山口頼子先生 昭和三十六年西高卒。四十二年東北大学院修士課程を修了して...

編集後記 すみからすみまで、この会報を、まい号、みんなに読んでほしいと...

お寺の本堂の薄暗がりの中で、白くうかんでいた菊の花。なぜか...

出されまう様にとお思います。夏に石坂照子さんの講演を聴かせて頂きました。アメリカに...

同年の友金子淳子さんの原稿を頂けて、かつての心へ姿の私達を三ツウン年をとび越えて思...

53年度収入の部 表: 項目(入金、雑収入、会費)と金額の対比表

53年度支出の部 表: 項目(総会費、会議費、印刷費)と金額の対比表

54年度経常費予算(案)書 表: 項目(入金、雑収入、会費)と53年度との増減額

表: 項目(総会費、会議費、印刷費)と53年度との増減額

新しい二人を紹介 同窓会も、総務係、母校協力係、...

同窓生の皆さま、どうぞよろしく指導下さいませ。(山口)



写真左 遠藤 静子 撮影者 佳子 右 井口登美子